

【文法】(言語学、脳科学)

.....

①母語話者の脳にある言語知識であり、単語および文の生成や理解に必要な規則の体系。人間の言語に共通した普遍文法の原理と、個別言語のパラメーターより成り、言語環境において乳幼児が特別な教育なしに獲得できる

②言葉の正しい使い方に関する規則。動詞の活用規則がその典型で、日本語動詞の五段活用や、三人称・単数・現在で英語動詞に"s"がつく例などが有名。国文法や英文法のように、文法は学校教育で習うと思われる

③ドイツ語の文法は難しい

④ドイツ語の言葉の正しい使い方に関する規則は、大人になって習得しようとするとう骨が折れる

(酒井邦嘉)

Syntactic Structures

Noam Chomsky著 Mouton de Gruyter刊

人間の言語の創造性と普遍性を明らかにすることで古典心理学を打破し、言語学・哲学のみならず脳科学や認知科学にコペルニクスの転回を与えた書。私の研究分野に関する書籍で、最も価値観や考え方を揺さぶるような、学術書、知的な書籍であり、学術界を震撼させた書籍の典型と言える。(酒井邦嘉)